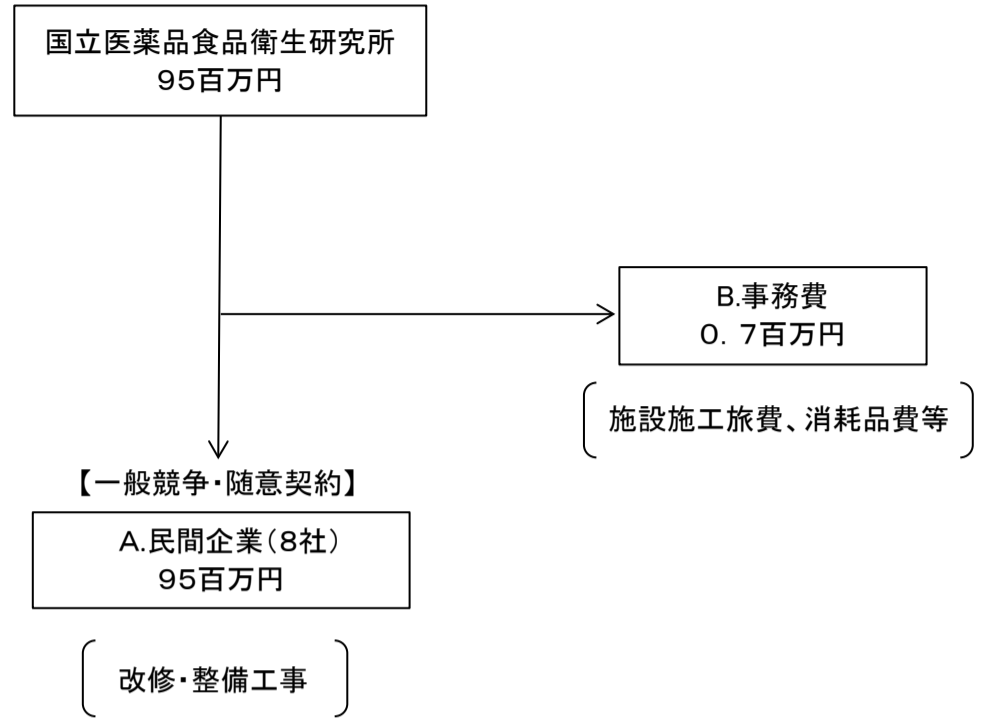


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費	担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和21年度	担当課室	総務部会計課	渡邊 裕一			
会計区分	一般会計	施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「多極分散型国土形成促進法」に基づく「国の行政機関等の移転について」の閣議決定(昭和63年)	関係する計画、通知等	「国の庁舎等の使用調整等に関する特別措置法第5条」に基づく「東京23区内に所在する庁舎移転・再配置のための単独庁舎」特定国有財産整備計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・昭和63年の閣議決定に基づき、世田谷区上用賀から東京23区外へ移転するため、具体的な研究所の環境整備、建物計画、工事費の概算等を決定し、必要となる工事等を行うことを目的とする。 ・老朽化の著しい既存施設について、良好な研究環境を確保するため、施設整備を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・早期移転を目指して、建築基本条件書の作成、移転先用地の環境整備、建設に関する設計、建築工事を行う。 ・老朽化の著しい既存施設について、良好な研究環境を確保し、研究機能を維持するための施設整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	349	9	97	96	112
		補正予算					
		繰越し等	1,188				
		計	1,536	9	97	96	112
	執行額	160		95			
執行率(%)	10%		98%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	施設の整備に係る経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設の整備に係る経費であるため、定量的な活動指標を設定することはできない。	活動実績(当初見込み)	—	—	—	—	—
				()	()	()	()
単位当たりコスト	—	算出根拠		—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	0.6	0.6	移転計画の推進に伴う増			
	施設施工庁費	0.5	19				
	施設整備費	95	92				
	計	96	112				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状況・ 予算	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	-
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の 流れ、 費目・ 用途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額随意契約の対象金額を超える案件については、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	必要な経費に限定されている。
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	高圧蒸気滅菌装置については耐用年数を大幅に経過しており、応急処置的な工事を実施しても根本的な解決にはならないため、今回実施した更新工事は適切且つ実効性の高い手段である。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	施設の老朽化、経年劣化に伴う不具合が生じる可能性が懸念されていたが、本工事を実施したことにより研究を円滑に実施できた。
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化・経年劣化に伴う不具合により研究業務を停滞させることがないように必要な施設の整備を行った。 ・経費の執行にあたっては、執行管理表により支出先及び用途等について管理を行い、適正な執行に努めている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、国の行政機関の移転に係る閣議決定等に基づく国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費であり、平成22年度は特殊事情により、計画の見直しを余儀なくされたため不用が生じているが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	577	平成23年行政事業レビュー	526

※平成23年度実績を記



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.サクラエスアイ株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	高圧蒸気減菌装置更新工事	62			
計		62	計		0
B.株式会社伊藤サプライ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	工事に伴う消耗品	0.3			
計		0.3	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サクラエスアイ株式会社	高圧蒸気滅菌装置更新工事	62	1	88.7%
2	三菱重工冷熱システム株式会社	ターボ冷凍機オーバーホール作業	8	1	87.9%
3	荏原冷熱システム株式会社	吸収冷温水機分解整備作業	8	1	93.5%
4	日本空調サービス株式会社	洗浄室系統空調設備改修工事	2	随意契約	99.8%
		給気及び排気ファン用インバータ設置工事	2	随意契約	95.0%
		エアシャワー設備修理工事	2	随意契約	90.3%
5	田口工業株式会社	洗浄室オートクレーブ廻り床補修工事	2	随意契約	91.0%
6	信東建設株式会社	動物実験室前テンキー錠取付工事	2	随意契約	94.2%
7	エス・イー・シーエレベーター株式会社	エレベーター修理工事	1	随意契約	89.5%
8	日本美装株式会社	動物実験室空調系統再熱制御更新工事及び減圧弁交換	1	随意契約	98.7%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社伊藤サプライ	工事に伴う消耗品	0.3	随意契約	
2	サクラエスアイ株式会社	高圧蒸気滅菌装置に関する消耗品	0.2	随意契約	
3	独立行政法人国立印刷局	高圧蒸気滅菌装置入札に関する官報公告料	0.1	随意契約	
4	職員A	高圧蒸気滅菌装置工場検査に伴う施設施工旅費	0.05		
5	職員B	高圧蒸気滅菌装置工場検査に伴う施設施工旅費	0.03		
6	職員C	高圧蒸気滅菌装置工場検査に伴う施設施工旅費	0.02		